

「建コンって何？」 社員の子が職場体験

エイト日技

エイト日本技術開発（EJEC）は19日、社員の子どもを対象に「EJEC職場体験イベント」を東京都中野区の東京事業所で開いた。写真。子どもたちに家族の仕事である建設コンサルタントについて



て知ってもらうことを目的に、スタンプリーや3Dスキャナーの測量といったさまざまな体験プログラムを設けた。未就学児や幼稚・保育園生、小・中学生を中心に33人の子どもが参加。社員である保護者も含めた60人以上が仕事への理解や交流を深めた。事業所内のコミュニケーション促進も狙った初の取り組みとなる。

冒頭、金声漢社長は「みんなのお父さんやお母さんはパソコンを使って橋や道路、トンネル、公園、川、港などいろいろなものを設計している。普段、どのような仕事をしているかを知りきっかけにしてもらえば。イベントが会社と家庭をつなぐきっかけになれば幸いだ」とあいさつした。

その後、本社人事戦略部の神原明里氏が「建設コンサル

タントって何？」と題して仕事の内容を分かりやすく解説した。生活に身近な道路を例に挙げ、「人が安全に歩くにはどうしたらいいか」「大雨が降った時に道路にたまった水はどうするのか」「工事の順番はどう進めるか」など建設コンサルタントが仕事をすす上で考えるべき点を説明。子どもたちは熱心に耳を傾けていた。

数人のグループに分かれ、仕事をする社員に仕事内容を聞き、スタンプを集める体験型プログラム「オフィススタンプリー」では、子どもから建設や設計に関する素朴な質問が聞かれた。

このほか、木材で製作した「木れんがアーチ橋」やかるたを通して土木用語を学べる「土木かるた」も人気を博した。

